

鎌倉最初の幼稚園「ハリス記念鎌倉幼稚園」の歴史

設立の経緯

鎌倉教会創立者美山貫一牧師が長年抱いていた幼稚園設立の志を、フローラ・ベスト・ハリス夫人が1909(M42)年鎌倉に滞在の折に知り、遺志として幼稚園設立の献金を寄せた。その資金と鎌倉教会員坂ノ下の貿易商岩上金壽遺族の感謝献金を基金として、同年フローラ・ベスト・ハリス記念鎌倉幼稚園が設立された。

フローラ・ベスト・ハリス(1850–1909) 夫、M.C.ハリスと共に米国から1873(M6)年来日。翌年夫妻は函館に赴き未開の過酷な状況下で、ハリスは函館伝道の開拓者として日本基督教団



函館教会を創立した。この間、ハリス夫人は西洋の生活を楽しむとに伝え、婦人会を作り自宅に子女を集め英語を教え伝道に努めた。78年頃、函館に女学校設立の必要を本国に訴え、ドイツ駐在アメリカ公使夫人の献金を基に遺愛女学校(東北地方以北最古の女子高)を設立した。この年、病弱であった夫人はやむなく東京に転居する。日本文学にも造詣が深く「土佐日記」を英訳し出版した。青山学院宣教師館

にて 1909 年 9 月 7 日に死去享年 59 歳。青山墓地に眠る。

鎌倉幼稚園設立者**美山貫一**（1847－1936）1875 年に渡米しキリスト教の洗礼を受け 84 年帰国するが再び渡米。当時日本人移民が酒癖の悪さから日本人排斥運動が勃発していた事に心を痛め、禁酒運動に尽力して帰国した。名古屋、東京の牧師を経て鎌倉に転任し 1903 年鎌倉メソジスト教会(現・日本基督教団鎌倉教会)の初代牧師。15 年間志した幼稚園を 1909 年に設立し初代園主に美山豊子が就任した。

設立から大正時代

1910(M43)年園舎が完成し、園児数は 32 名となる。12 年には早くも増築が必要になり「ハリス記念鎌倉幼稚園増築寄附金募集書」(明治 45 年 4 月)には、「今では人口 1 萬にもなろうという鎌倉、(中略)幼稚園は停車場から二丁、電車の停留場の前にあります。北は縣道、東は老松の亭々



1918 年頃の卒園式

たる鶴岡八幡道、千坪ほどのゆったりした構内、そこには教會堂も御座います。微風快よく、おちひさい方の遊

ぶには、極よい處です」とある。

母の会、婦人会、料理会、ミス・バセット宣教師の英語や音楽指導も行われ順風であったが、23年鵜飼猛牧師が園長に就任した年、関東大震災により全壊した。内務省の交付金や教会員の献金、海外からの寄付により再建に着手、25年4月に園舎が完成した。名称をハリス記念鎌倉幼稚園と改め、園児数は100名近くになった。

復興園舎は鎌倉で最初期の鉄筋コンクリート造であり、八角の中央遊戯室を囲むように舞台、教室を配した梅鉢型と呼ばれる珍しい建物である（設計:北尾春道）。梅鉢型園舎は世界で初めて幼稚園を開いたドイツの教育者フレーベルの幼児教育思想を生かしたものと言われている。翌年再建された鎌倉教会会堂と共に、1992年鎌倉市の景観重要建築物に指定された。



復興のハリス記念鎌倉幼稚園
Reconstructed Harris Memorial Kindergarten, Kamakura, Japan.

因みに1937年開園の比企谷幼稚園は、ハリスの梅鉢型園舎を参考に造られた。

復興のハリス記念幼稚

戦前の昭和

1932(S7)年に大船幼稚園分園が開園した。35年には園医の秋場隆一医学博士が牧師でない初めての園長に就任し、25周年を迎え新たな方針であった。37年に白水^{しろうずまさと}万里牧師がヘレン・ケラーを鎌倉に迎え、御成小学校講堂で講演会を開催することができた。いよいよ太平洋戦争が始まったが園児数は特に減少しなかった。45年に入ると幼稚園本館、別館及び保母館は海軍工廠附属作業工場(海軍刀鞘作り)と宿舎に徴用された。キリスト教幼稚園は宗教活動を禁止され、多くの園が休園閉園する中、ハリス記念鎌倉幼稚園は細々礼拝堂と祈祷室で保育を続けた。しかし、キリスト教用語は使用出来ず「イエス様」は「神様」といい、「アーメン」は使えなかった。食料が著しく不足した時代である。

記憶に残る二人の保母

1915(T4)年、主任保母として就任した篠原シマが29年に米国に留学し先駆的な幼児教育を学んで帰国した。保母の服装は着物に胸当てのついた白いエプロン姿だが、篠原はいつも洋服だった。子どもたちに英語も教え、園舎の寮住まいだったので、よく遊んでくれた園児たちに強い印象を残し、「篠原先生を囲む会」には多くの卒園生が集まった。

新美昭子は 1940 年東洋英和を卒業して柳行李をチッキで送って着任した。新任給料は 38 円、下宿代に 20 円払



1940 年頃 給食風景

い 10 円貯金しても十分生活ができた。初任給で 1 本 2 円 50 銭の鎌倉ハムを土産に東京の実家に帰った。

篠原シマにも鍛えられ、戦中は由比ヶ浜の女子青年団の一員としてバケツリレーやもっこを担いで軍用道路作りに駆り出された。戦後は荒れた園舎の片付け等 50 年間で幼児教育に携わり、第 9 代園長を務め退任した。新美に親子 2 代に亘り世話になった家庭も多かった。

戦後の昭和

1948(S23)年、神奈川県私立幼稚園連合会が結成され、県下の園数は 24 園。「学校教育法」の施行により民主教育が推進されるようになった。新入園児募集時は体格検査と面接を実施し入園児は 80 名になり、園章やベレー帽も制定された。「母の会」は連合軍の指令により「PTA」と改め、会報「ハリスだより」創刊号を発行した。1960 年

創立 50 周年増築記念講演会は講師に羽仁説子を迎え（第 1 回卒園生）、横山隆一（在園児童保護者）の揮毫の記念手ぬぐいが配布された。



創立 50 周年記念手拭い

ハリス記念鎌倉幼稚園は、キリスト教に基く教育理念がもたらす文化が明治以降の鎌倉の近代化と合致し、特に別荘族や著名人、文化的市民に受け入れられた。当時幼稚園に通うのは選ばれた家庭が多かったが、近くの商店の子供たちも一緒に楽しく通園した。

昭和・平成の社会の変化に対応しつつ歴史を刻み、教会員や保護者たちの支援を得て着実に運営を継続し、2009 年 11 月創立 100 周年を迎え、現在に至る。